



一万円



夏フェスタ2002 & サマーカーニバル

第5回目を迎えた「夏フェスタ」が7月21日、運動公園で行われました。歌に踊りにキャッチャーゲームなどのアトラクション、幕別高校の仮装、最後は約3000発の花火大会と盛りだくさんの夏の一日でした。



幕別町の選ぶ道は二通り

市町村合併に関する地域説明会を6月26日、28日、7月4日、町民会館、糠内コミュニケーションセンター、札内福祉センターで行いました。町の説明に対し、参加した皆さんからは、選択するための判断資料を求める意見や要望が数多く出されました。その内容を紹介します。

合併論議の背景

市町村合併問題の背景には国の権限を市町村に委譲する地方分権に今の町村規模で対応できるか、少子高齢化が進み人口が減少する、日常生活圏の広域化が進んでいる、国の財政危機により、市町村収入の多くを占める地方交付税や補助金が減額される、などがあります。(詳細は平成13年7月、8月、12月、14年4月の広報紙をお読みください)

国の支援に期限が

なぜ今、市町村合併問題が緊急の課題になっているのかというと、合併特例法にある、合併後10年間(その後経過措置5年間)、普通交付税で支援するまちづくりの支援や公共料金の格差是正のために3年間、特別交付税で支援する、合併による建

設事業への補助金や返済に助成のある有利な借入(地方債)をできるようにする、市になる人口要件を5万人のところ17年3月31日までに合併した場合4万人とする、等の支援措置が、平成17年3月31日で受けられなくなるからです。

合併をするためには、それぞれの町の条例や住民自治をどうするか話し合い、その後、議会の議決、北海道の許可を得るという作業の日数が約22カ月かかると言われています。これを逆算すると平成15年3月頃までには、どの道を選ぶか決めなければならぬということになります。

単独で行政運営を続けるのも一つの道です。17年3月を過ぎても合併はできませんが、合併特例法の適用はありません。もし結果的に合併の道を選ぶのであれば、合併特例法にある国の支援を受けた方が、少しでも有利

な条件で新しい町づくりを考えるとができます。

どの道を選ぶのか

幕別町が子供たちの未来のために選ぶ道は二通りあります。一つは、町財政が今後も厳しくなると予想されるため、住民サービスと住民負担について検討と見直しを図り、住民の理解と協力を得ながら、幕別町単独で今後も行政運営を行っていく。二つ目は帯広市と合併する。三つ目は幕別町が主となって近隣の町村と合併する。例えば消防事務組合を構成している池田、豊頃、浦幌と合併すれば4万人を超える市となります。

以上のように単独、市と合併、近隣の町村と合併という三つのパターンがあり今後、限られた期間の中で、どの道を選ぶのかの判断を住民の皆さんとともに話し合っていきたいと思えます。

札内福祉センターには住民68人が参加。町民が判断できる具体的で分かりやすい資料を求める意見があいつぎました



主な意見 私達が判断できる具体的な資料を早急に



町長・議会がリーダーシップ 父から聞いた話だが本州の町で昭和の合併の時、当初、合併せずに7、8年後に苦しくなって合併したら、かなり不利な条件での合併になったとのこと。町民全体の意見を求めるといっても、まとまらないと思うので、町長や議会がリーダーシップをとるべき。

町内会単位での話し合いの場を 選択をする期限まであと半年足らずなのに、時間だけが過ぎていく。町の説明は依然同じで、議会は委員会もつくっていない。説明会への参加人数も少ない。もっと具体的な話にならなければ隣近所と話し合うこともできない。今後は、助役なども参加して町内会単位で具体的な話し合いをする場を、ぜひつくって欲しい。

1市3町の帯広圏 幕別町や近隣市町村の税金の額や使用料を調べて考えても意味が無い。なぜなら10年、20年後には、それらの額がそのままとは思えない。私は帯広のベッタタウンだから住んだのであり、合併するとなれば初めから1市3町の帯広圏だと思っている。

住民の声を聞く時間があるのか 新聞に幕別、帯広、音更、芽室が合併する道のパターンが出ていた。これを見て特に札内地区の人は、帯広と合併するのだなと思っているのでは。説明を聞いても何を基準に判断するのか分らない。説明を聞いていない人は、もっと分らないだろう。町は住民の意見を十分に聞いてというのが、日にちも迫っており、難しいのではないかと。

地域の声が届くか 合併は、役所の人件費が大幅に削減されるだけのこと。大きな所と合併すれば地域の声も届きづらくなるし、住民への行政サービスもぐっと落ちると思う。

住民にいつ、何をやるかのタイムスケジュールを 交付税はどれくらい減額されるのか、単独ではどうなるのか。広報紙でも質問形式にするなどの分かりやすい紙面を。議会だけに任せることはできないから住民大会を開く、住民アンケートを実施するなどのことをして欲しい。住民にタイムスケジュールを示しながら、どうするかを具体的に分かりやすく示して欲しい。

幕別町は十勝の中でどういう立場か 合併論議の前に近隣市町村や幕別町の状況を住民に知らせるべき。固定資産税や国保税等のほかに、町から住民への補助金や交付金などがどうなっているか。幕別町は十勝の中で、どういう立場なのか住民に教え、そこから合併問題を考えていただきたい。なぜ町議会や道議会は国に下から押し上げるといふ要望などをしていないのか。

単独より合併を 東部4町で合併すると4万人の町にはなるが、果たして豊かな町になれるか疑問。人口の多い方が福祉や医療の面を含めて有利になるのでは。

意見を求める場を9月に

意見・要望に対する町の説明 国が地方への財源をどうするか明確にしておらず、来年度以降も国の方針が示されていないため、将来の試算が非常に難しい。道のホームページで合併に関するシミュレーション(各種情報に基づいて現実の場面を想定してモデルを作り、事態の変化・進展を計算・予測する方法)が7月1日に公開されたが、各市町村の個別事情が考慮されていないものであるため、今後これを検証していく。

合わせて東部4町での検討会議の資料、今後設置する役場内部の検討会議などを通して、単独あるいは合併の場合のシミュレーションを作り、住民の皆さんが判断できる、分かりやすい資料を作成するための体制をつくっていく。 税や使用料などは、合併相手が決まってから話し合われる。今後の国や道の方針を見据えながら、これらの資料などを基に9月以降、住民の皆さんの意見を求める場を設定したい。



合併しても何年後に自立 どの道合併しても国の借金は変わらないから、何年後には自立をしないといけない。できれば単独を望むが。



健康のため、ダイエットのため 一緒に運動しませんか？

農業者トレーニングセンター、札内スポーツセンターにトレーニング指導員を配置して4カ月が経ちました。専門家の指導を無料で受けられるということで、人気急上昇中です。



近年、わたしたちの健康に対する意識は昔前に比べると、格段に高まっています。

町では、今年4月から皆さんの健康増進と体力の向上を、より効果的に行うため、農業者トレーニングセンターと札内スポーツセンターに専門的知識と技術をもったトレーニング指導員を配置しました。

これに合わせて、両施設では、トレーニング室のトレーニング機器の充実を図るとともに、4月からは、エアロビクスやストレッチなどを行う「健康講座」を実施しています。6月からは、特別町民プールでの水中運動（アクアビクス）を追加して、皆さんの健康づくりをサポートしています。

トレーニング環境の充実

今年の3月までは、保健福祉センターにおいて、健康に関する講座や健康増進のための各種事業を実施していましたが、4月からは、利用者の拡大を目指し、スポーツセンター・トレーニングセンターの2カ所で開催し、多くの方が参加できるようにしました。

拠点をこの2ヶ所とすることにより、機能を集約できるので、トレーニング室の機器が充実

私たちが、あなたの健康づくりをサポートします

運動は体にいいと分かっているけど何をしたいのかわからないという人がたくさんいます。私たちが一緒にま

ず体を動かしてみませんか。気軽に声をかけてください！



トレーニングアドバイザー
奈良 寿子さん



トレーニング補助員
今井 孝之さん



トレーニング指導員
沢崎友紀子さん



トレーニング補助員
吉田 景子さん



トレーニング補助員
五十嵐晋一さん

し、利用される方はスポーツとトレーニングを効率的に行なえます。

さらに、これら体育施設を効果的に運営するために、健康指導やトレーニングに必要な専門的知識と技術をもつ、トレーニング指導員を配置しました。このことにより、生涯学習に則した各種教室などの新しい事業と、利用者への健康増進に関するアドバイスのためのサービスマンとしての役割を担ったトレーニング指導員を配置しました。このことにより、生涯学習に則した各種教室などの新しい事業と、利用者への健康増進に関するアドバイスのためのサービスマンとしての役割を担ったトレーニング指導員を配置しました。このことにより、生涯学習に

健康講座を開催しています

8月のメニューは次のとおりです。（日程は、おしらせ7月15日号でご確認ください）

どの教室も事前申し込みは不要です。お一人でも気軽に参加できます。

・はじめてのエアロビクス
「エアロビクスが初めて」という方、また「1時間のレッスンは自信がない」という方、どうぞご参加ください。
・かんたんエアロビクス

簡単なステップ中心のエアロビクスです

・はりきりエアロビクス

少し強度を上げ、より脂肪燃焼を目指します。

・ダンベル&ストレッチ

ダンベルを使い筋力をアップ、その後ゆったり身体を伸ばします。

・肩こりさよなら体操

肩とその周辺の血行を良くし、筋肉をほぐします。

・青竹体操

青竹を踏みながら足の裏や全身をほぐします。血行が良くなりますよ！



・水中運動（幕別町民プール）
水中ではひざや腰への負担も少なく、多くの筋肉を使い運動できます。泳げない方も安心。顔を水につけません。
6月には、8回開催し、のべ137人が参加しました。

健康教室参加人数（平成14年）

| | スポーツセンター | | | トレーニングセンター | | |
|------|----------|-------|-------|------------|-------|-------|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 4月 | 5月 | 6月 |
| のべ人数 | 194人 | 421人 | 397人 | 114人 | 234人 | 311人 |
| 開催回数 | 12回 | 21回 | 24回 | 12回 | 21回 | 23回 |
| 平均人数 | 17.6人 | 20.0人 | 16.5人 | 9.5人 | 11.1人 | 13.5人 |



指導員に分からないことや効果的な運動方法などを聞きながら、健康づくりにお役立てください。講座に対する要望も気軽に指導員に伝えてください。



利用できる時間帯

午前9時～午後8時55分

（午後9時閉館）

指導員がいる時間は、午後1時～午後9時です。

利用料

無料（町外の方は500円）

利用年齢範囲

高校生以上（中学生は指導員がいる間、利用できます。エアロバイク・ランニングマシンのみ使用可能です）

初めてのの方は体力測定をお勧めします。

筋力・柔軟性・平衡感覚・持久力など6項目の測定を行います。

筋力・柔軟性・平衡感覚・持久力など6項目の測定を行います。

筋力・柔軟性・平衡感覚・持久力など6項目の測定を行います。

筋力・柔軟性・平衡感覚・持久力など6項目の測定を行います。

筋力・柔軟性・平衡感覚・持久力など6項目の測定を行います。

筋力・柔軟性・平衡感覚・持久力など6項目の測定を行います。

トレーニング室の利用者数

札内スポーツセンター

| | 利用者数(人) | | | | |
|----|---------|------|------|------|------|
| | 10年度 | 11年度 | 12年度 | 13年度 | 14年度 |
| 4月 | 381 | 386 | 640 | 669 | 993 |
| 5月 | 351 | 217 | 345 | 453 | 910 |
| 6月 | 345 | 159 | 257 | 433 | 924 |

農業者トレーニングセンター

| | 利用者数(人) | | | | |
|----|---------|------|------|------|------|
| | 10年度 | 11年度 | 12年度 | 13年度 | 14年度 |
| 4月 | 437 | 436 | 169 | 357 | 488 |
| 5月 | 387 | 402 | 89 | 380 | 453 |
| 6月 | 391 | 343 | 84 | 121 | 333 |

利用者の声を聞いてみました



中村由子さん
（新北町）

農業者トレーニングセンターで行われている青竹体操やストレッチに参加しています。

自分だけでは分からない、息の吐き方、力の入れ方などを教えてくれて、正しい運動ができます。おかげで、ひざや腰の痛みがとれました。これからも出来る限り続けていきたいです。



井上 猛さん
（北町）

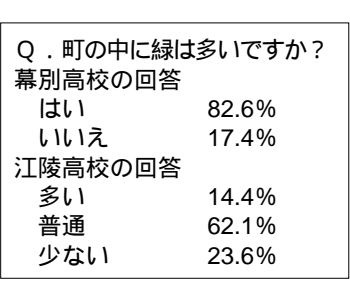
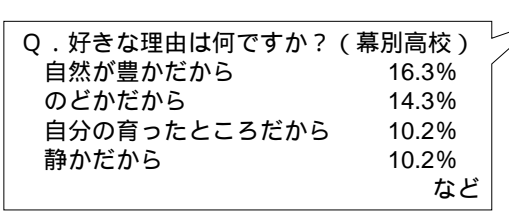
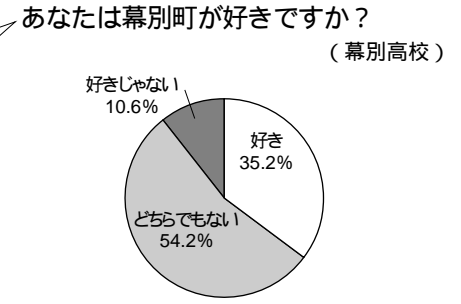
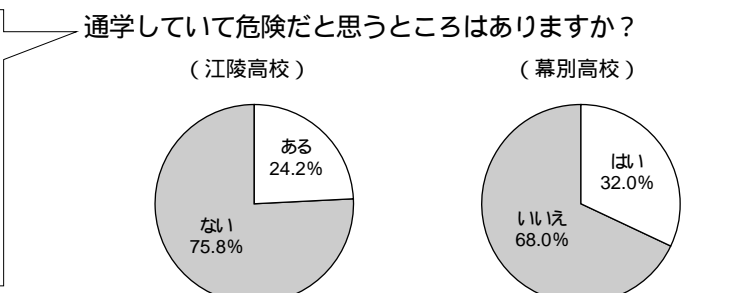
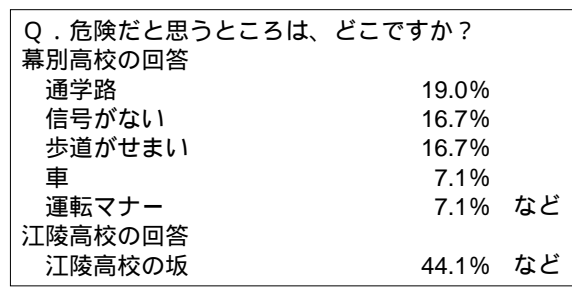
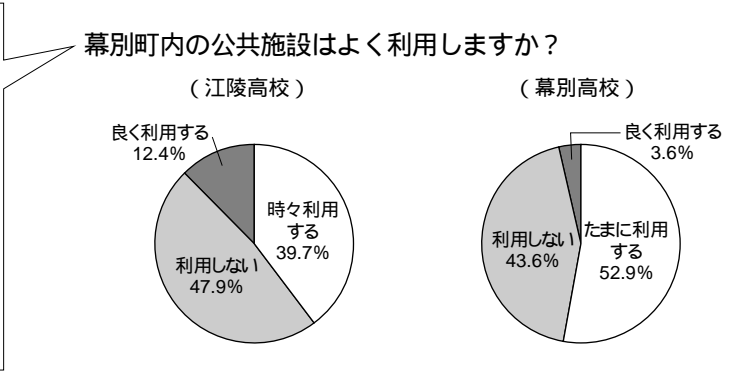
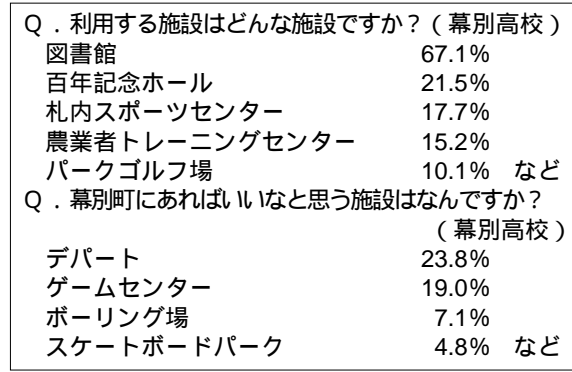
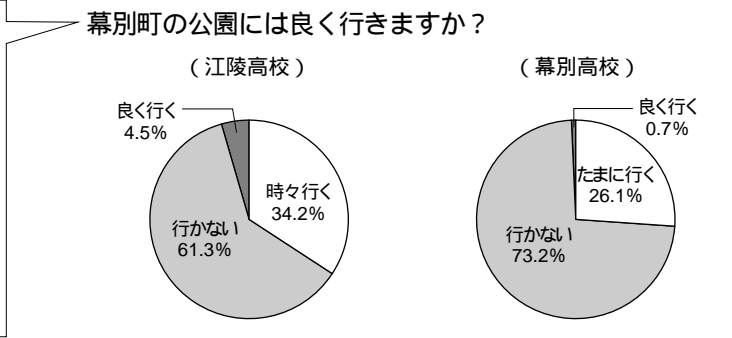
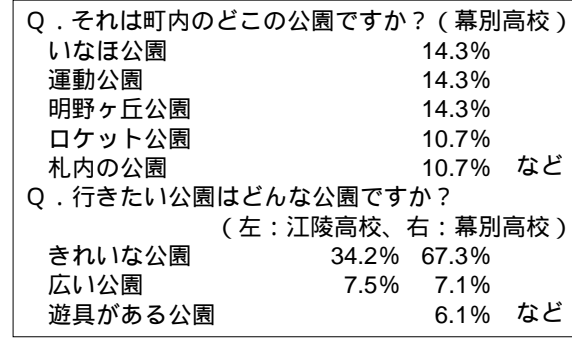
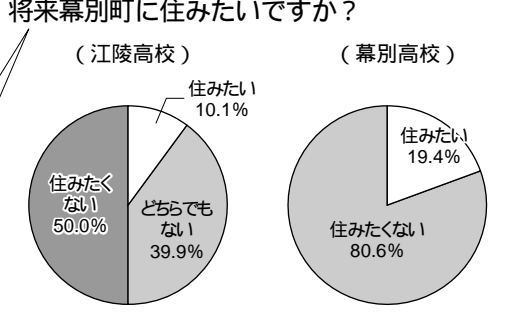
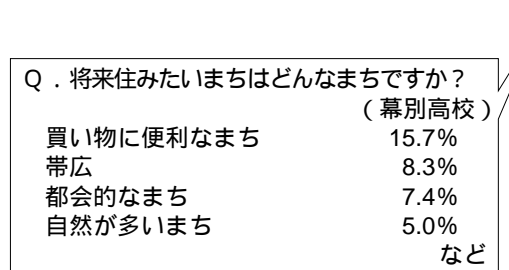
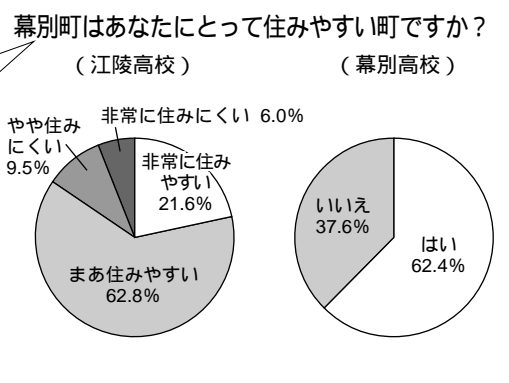
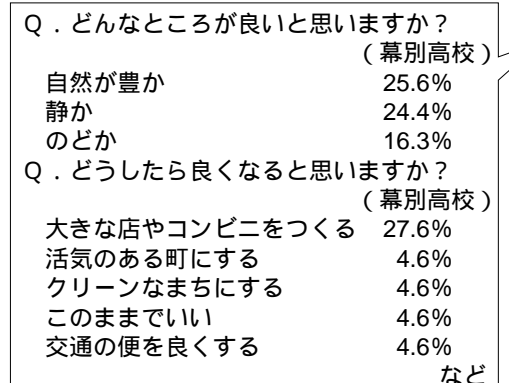
トレーニング室をほぼ毎日利用しています。気軽に来ることが出来るのがいいですね。

適度に器具が揃っている中で、自分の体にあった運動を選択できるし、自分のペースに合わせて無理なく運動ができますよ。

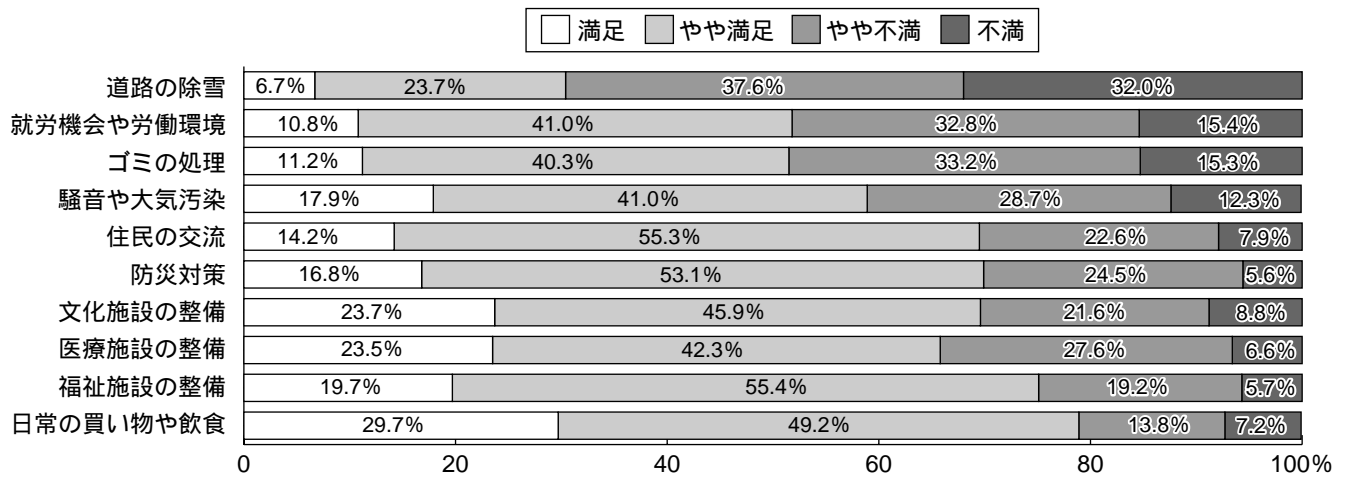
「都市計画マスタープラン」高校生のアンケート結果を報告します

このアンケートは、作成中の都市計画マスタープランに高校生の意見を反映させようと町が依頼したものです。設問については、生徒の皆さんに考えていただきました。

調査対象 幕別高校、江陵高校在校生
 サンプル数 幕別高校148人 江陵高校203人 計351人
 調査方法 町が示したマニュアルを基にした自主調査・集計
 円グラフの右は幕別高校、左は江陵高校の結果です。



地区の現状について (江陵高校：調査項目のうち満足度が高かったもの、低かったものをピックアップ)



Q. より良いまちになるために必要なこと (江陵高校：右グラフの項目別に意見の多かったもの)

住環境の向上

- 市街地の拡大はせずに、いまある住宅地の住環境を向上させる。
- 開放的な住環境のため歩道などにオープンスペース(花壇等を整備した空間や広場など)を設ける。

市街地の緑のあり方

- 住民の参加も促しながら、空き地の緑地や動植物とふれあえる場所の整備を進める。

商業サービスについて

- 住宅地の近くに日常的な買い物ができる商業地をつくる。

道路交通の整備について

- 住宅地や通学路の道路や歩道整備を行って、歩行者や自転車に優しい交通体系をつくる。

観光振興について

- パークゴルフ場や運動公園などスポーツ施設を生かした観光振興。

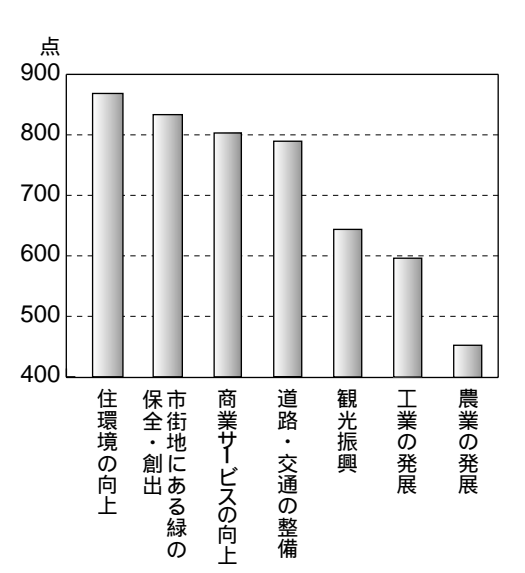
工業用地の配置について

- 騒音や交通安全の問題を重視した配置をする。

農業・農村の持つ機能の重要性について

- 鳥や虫、木々や草花などの生物・生態系保全機能が重要である。

より良いまちになるために必要なこと (江陵高校：必要度を点数に置きかえたグラフ)



今回のアンケートは、20年後の幕別町の『まちづくり』の方向性を描く『都市計画マスタープラン』策定の参考とするため、将来を担う世代の高校生に伺いました。

両校の皆さんとも多くの方が、「幕別町は住みよい町」と考えています。具体的な理由は「自然が豊であるから」と答えられており、これまで以上に自然と共生したまちづくりを進めていく必要があると思われる。

しかし、「住みやすい」と答えている一方で、「将来は住みたくない」と答えており、「大きな店やコンビニ」があり、「買物に便利」な「都会的なまち」を求める、若い人の気質がうかがえるところでもあります。

町の現状については除雪や交通安全の面で不満を感じていました。毎日の通学で実感していることであり、『歩く住民生活』を守る環境の整備が必要といえます。

皆さんのご意見をいただきましたが、紙面の都合で全てを紹介できませんでしたが、ご協力いただいた幕別、江陵両高校の皆さんありがとうございました。皆さんが描く理想の幕別像になるよう『マスタープラン』づくりを進めます。

クーリング・オフ一覧

| 取引内容 | クーリング・オフの期間 |
|----------------------------|---|
| 訪問販売 | 8日間 |
| 電話勧誘販売 | 8日間 |
| 特定継続的役務提供 (エステティックなど) | 8日間 (契約後の中途解約権あり) |
| 連鎖販売取引 (マルチ商法) | 20日間(契約書面交付日か商品受 取日のいずれか遅いほうから) |
| 業務提供誘引販売取引 (内職・モニター商法) | 20日間 |
| 通信販売 (インターネット通販 を含む) | クーリング・オフなし 返品を認めないときは「返品不可」 などの表示の必要あり |
| ネガティブオプション (送りつけ商法) | クーリング・オフはないが、引き 取りを伝えた場合は7日間、また は14日間過ぎてても何も言っていな ければ、自由に処分できる |

あの手この手で
あなたを狙う
悪質商法!

自宅や路上で、職場や学校で、電話やインターネットで、悪質商法は、あの手この手を使って私たちを狙っています。被害者にならないために、私たちは何をしたらよいのでしょうか。

いろいろある悪質商法の手口

悪質商法は、巧みな手口で私
たちを狙っています。この商法
による契約トラブルは近年、増
加傾向にあります。
平成12年度の幕別町内の消費
者相談件数は、帯広消費者協会
に93件、十勝支庁に11件、役場
に8件でした。今年度、町の消
費生活相談室には、サラ金に関
する相談など、6月までに28件
の相談がありました。

悪質商法の手口

下表のとおり悪質商法には、
様々な手口があります。このほ
かにも、路上でのキャッチセー
ルス、商品を一方的に送り付け
る商法などがあり、具体例をお
げたらきりがありません。
悪質商法のセールスマンは、
ブロ中のブロです。被害者にな
りそうな相手を探し、少しでも
スキを見せたら、私たちが契約
書にサインをするまで、とこと
ん喰らいついて離れません。
あなたを守る
クーリング・オフ制度
契約をした後に「だまされ
た」と気づいた場合に、クー

リング・オフという制度が、私
たちを守ってくれます。
クーリング・オフとは
英語で「頭を冷やす」という
意味で、訪問販売などで商品
やサービスを買う約束をした
ときでも、期間内に契約を解
除することができる制度で
す。理由は何でもよいです。
契約を解除できる期間は
契約書面を受け取った日をい
れて8日間です。マルチ商法
や内職・モニター商法は20日
間です。(左表参照)
クーリング・オフの手続きは
契約を解除する旨をハガキに

書き、両面をコピーして保存
し、郵便局から配達記録郵便
などで業者に送付します。分
割払いの時は、クレジット会
社にも、クーリング・オフし
たことを連絡します。
クーリング・オフができない
場合
・化粧品・洗剤・衛生器具・健
康食品など。開封したもの、
または使用したものはクーリ
ング・オフができません。
・乗用自動車
・3000円未満の現金取引
・自ら出向いて営業所で商品を
購入したとき



7月4日、消費者協会が悪質商法に関する講座を開催。その手口と対処方法について勉強しました

この他にも、北海道立消費生活センター(011-271-0999)、北海道立消費生活センター十勝相談所(20-4880)でも皆さんの相談に応じます。

消費生活相談室を
設置しています
町ではこれまで、消費者協会に協力をいただき、週1回、消費者苦情相談室を開設し、皆さんの相談に対応してまいりましたが、今年度からは、消費生活アドバイザー三宅由美さんによる消費生活相談を土・日曜日を除く、平日に開設しています。
相談は午後1時から午後4時まで(土・日曜日、祝日を除く)月・火曜日は役場1Fホール(☎54-6606)で、水・木・金曜日は札内支所(☎56-2111)で行っています。

その間に31件の相談(7月17日現在)を受け付けました。サラ金の多重債務などを除いた契約についての相談は20件、契約金の総額は800万円を超え、相談することで支払わずに済んだ金額も500万円余りとなっています。
家にいると販売員の訪問や、電話勧誘、ダイレクトメール等が大変多くあります。見知らぬ人の優しいような接近や、うまい話には「用心!」「何だかおかしいな?」そんな時には、どうぞ気軽に相談を!



三宅 由美さん
消費生活相談室から町消費生活アドバイザー
す。一人で悩まずに電話してみてください。

商品の販売・点検や修理(修繕)被害にあわなかったための対応・対処法
インターネットホンが鳴っても、知らない人(業者)の場合は玄関を開けないこと。万が一開けても絶対家の中へ入るはいけません。
止むを得ず家に入れても、相手はブロで話し上手であるから、「そうだなあ」と思っても「家族に相談してから...」と言って、その場で契約しないこと。
契約した場合、工事はすぐにさせないこと。(業者によっては契約と同時にその場で工事をを行い、あとで数百万円を請求されたというケースがある)あまりしつこい相手のときは、110番すること。
もし、だまされた気が付いたら、町の消費生活相談室に電話を入れること。専門のアドバイザーが相談に応じ、適切な指示をしてくれます。
建築や土木に関する場合は、複数の業者から見積もりを取ったり、知っている人(業者)に相談すること。市町村の建設関係担当者に相談すると安心できる指定業者を紹介してくれます。

幕別町農業振興公社が設立

平成14年6月20日付けで、北海道より設立許可され、正式に設立いたしました。
今後設立の趣旨に沿って活動を開始いたします。

公社設立の背景

幕別町は、これまで農業者の皆様方の努力と、関係機関の適切な指導のもと、管内はもとより道内でも有数の農業地帯として発展してきました。

しかしながら、農業を取り巻く内外の環境の厳しさなどから、農家戸数の減少および農業従事者の高齢化・担い手不足が顕在化している現状にあります。

農家戸数でいうと、平成元年には850戸ありましたが、平成13年には636戸と200戸以上が離農し、今後この状況がさらに進展することが予想されています。

公社の概要

(1) 設立形態
民法第三十四条に基づく公益法人（財団法人）として、町および農協が出資し設立しました。

(2) 事業内容
公社で行う事業は、大きく次の3事業を行います。

- 担い手確保・育成事業
まくべつ農村アカデミー研修事業の拡充および農業後継者パートナー事業など、担い手に関する施策を総合的に実施します。
- また、農業研修生の円滑的な受け入れを行うため、町が宿泊研修施設を整備し、施設が効果的に活用されるよう各種研修事業を行い、優れた経営体の育成を図ります。
- 農地流動化対策事業
農地の移動・集積等（流動化）について、総合的な相談窓口を開設し、農地の計画的な担い手への集積を図るべく、賃貸借事業を中心とした農地保有合理化事業を行い、北海道農業開発公社および農業委員会と協力しながら、農地の効率的な利用が行われるよう事業を実施します。
- 農業情報システム事業
農業者に対して、的確な気象情報などを配信するため、気

象観測ロボットを設置し、きめ細かな気象情報などを提供するにより、農作業計画の樹立などを支援します。
以上大きく3事業を行い、本町農業の更なる基盤強化と、効率的な農業経営の促進を目指します。



皆さんの意見やアイデアが集まって

若草南公園が完成しました

若草南公園が8月1日に開園します。この公園は、町民の皆さんが意見やアイデアを出し合う「ワークショップ」という形式で検討されてきた公園です。

今回完成した若草南公園は町内で4カ所目、札内では3カ所目の近隣公園です。近隣公園は500坪の範囲に居住する方を利用対象としています。

公園の建設にあたっては、町民の皆さんに参加いただきワークショップ形式で公園の設計を行い、その中でまとめられた皆さんの声を反映し、平成13年度から造成してまいりました。

公園の特徴
この公園は、住宅地の中心にあるので、車を利用しなくても、気軽に立ち寄れる身近で利用しやすい公園です。

公園の中心に広大な芝生広場を設けることにより、身近なレクリエーション空間や災害時の避難場所としても利用できます。

若草南公園の概要
敷地面積 1・0 畝
造成費 9千7百万円



時計塔（図）
公園で遊ぶ男の子と女の子をイメージして作った、公園のシンボリックなものです。
アナログ表示が読めない小さな子供たちにもわかるようデジタル表示もされています。

築山と遊具（図）

公園南側の道沿住宅側には、高さ5m程の築山があります。山の頂上からまわりの景色を眺められるだけでなく、山の中腹から、ローラ滑り台やターザンロープを使って遊ぶことができます。冬には、傾斜を利用してソリ遊びなどもできます。
北側の遊具は、砂場やコンビネーション遊具などを配置し、小さな子どもたちも遊べます。

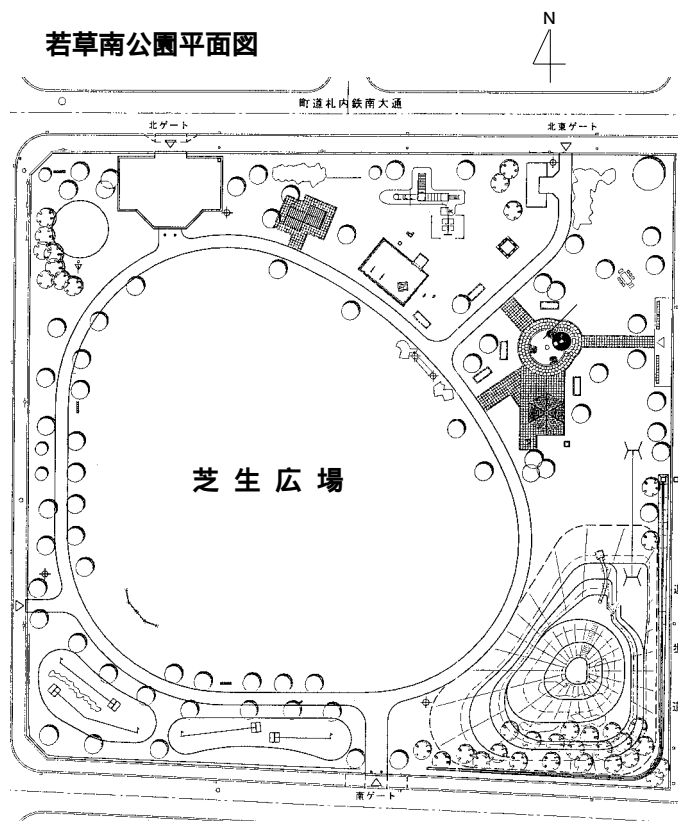


スポーツ施設
バスケットコート（図）や、ミニパーゴルフ場（4ホール・図）が設置されています。中央の芝生広場ではソフトボールやサッカーなどで遊べます。



噴水施設（図）
ボタンを押すと、1回につき15秒ほど出る噴水があり、水遊びなどができます。噴水の種類は3種類です。噴水の水は水道水ですので安心して水遊びをすることが出来ます。

若草南公園平面図



使いやすいトイレ（図）

北側の道沿住宅側に配置し、車いすの方も利用しやすい構造となっています。

植栽

木の実がなる木や、きれいな葉をつける木などたくさんの種類の木を植えています。それぞれの木の名前を覚えてもらうように樹名板を設置しています。

公園使用のマナーを守ってください

犬を放さない
公園には犬が嫌いな人や小さな子どもが来ていますので、絶対に犬を放しません。

対に犬を放さないで下さい。

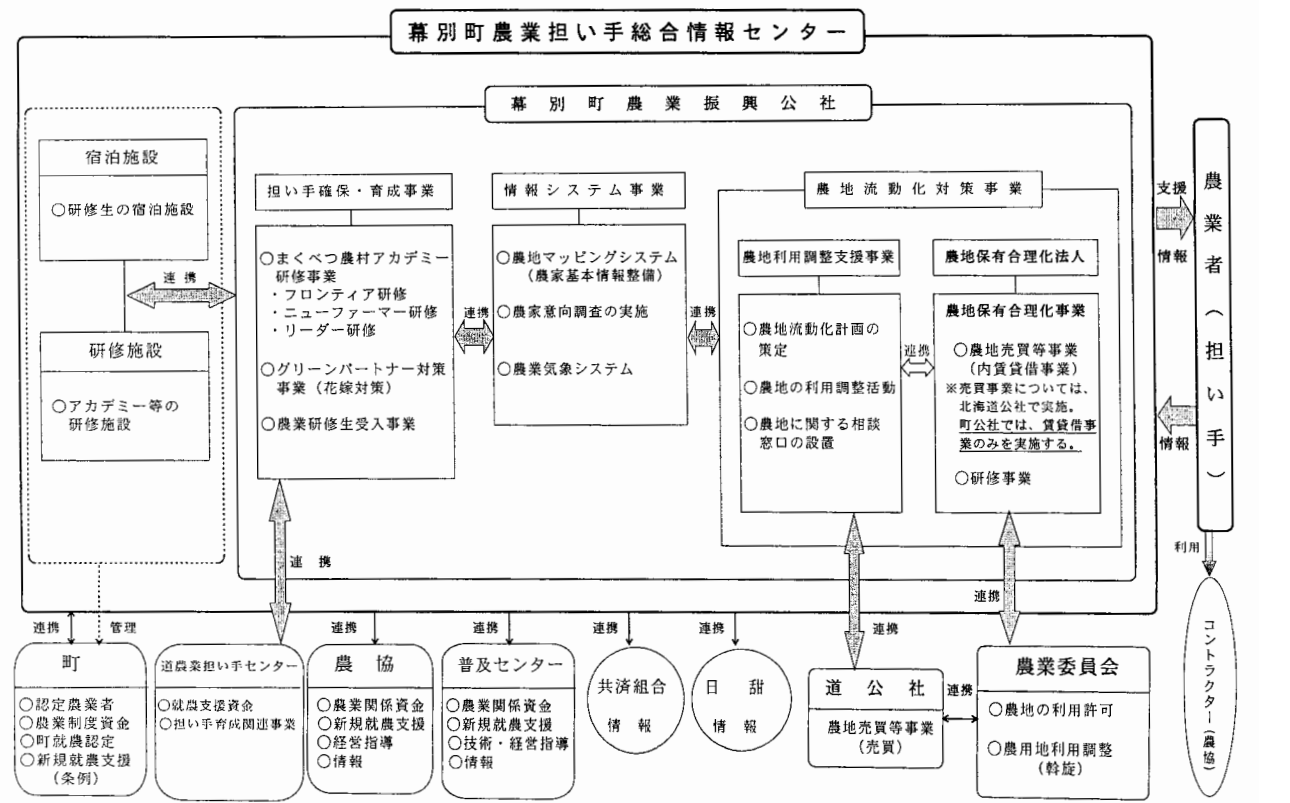
子どもたちが安心して水遊びができるようにペットを入れないようにお願いします。

ごみを残さないで

ごみの減量化を図るために、ごみかごを設置していませんので、ごみの持ち帰りにご協力ください。ペットのふんも必ず持ち帰るようにお願いします。

施設は大切に

せっかくの新しい施設も心無い人のために傷つけられたり、使えなくなったりする場合があります。みんなが気持ちよく使えるよう、大切に利用願います。





● Town Topics ●

まちの ニュース

公区・サークルの活動
などを企画室に連絡く
ださい

7/17 ラテン音楽のリズムに酔う ペレス・プラート楽団公演



若い世代にも愛されているラテン音楽を演奏する「ペレス・プラート楽団」の公演が7月17日、まくべつ町民芸術劇場の主催により、百年記念ホールで行われました。
この日は、「マンボの王様」と称えられた、故ペレス・プラートの独創的で個性豊かなサウンドを奏でるこの楽団の演奏を聴こうと、600人が来場しました。
観客は「エル・マンボ」や「マンボNo.5」など昭和27年に日本でもブームを巻き起こした情熱的なラテンのリズムと、魅惑的なダンサーの踊りに酔いました。

「どさんこ甚句・どさんこ舟歌大会」 自慢ののどを競い合う

7/7



みずほ町にお住まいの九本榮一さんが創作した北海道民謡「どさんこ甚句」と「どさんこ舟歌」の、のどを競い合う「第26回どさんこ甚句・第8回どさんこ舟歌大会」がどさんこ甚句・どさんこ舟歌実行委員会の主催により、7月7日、百年記念ホールで開催されました。
今回の大会には、十勝をはじめ、北見など管外からも参加があり、約230人が日ごろの練習の成果を競い合いました。

7/19 札内中央町の 亀山とめさんが満100歳



明治35年に千住で生まれた亀山さんが満百歳を迎えられました。
亀山さんは、18歳の時に浦幌町に嫁ぎましたが、昭和の初めに再び幕別に戻られ、ご主人の金市さん（故人）と札内中央町で精米所を開業し、12人の子宝にも恵まれました。
最近では体調を崩され、入院生活を送っていますが、元気だったころは、裁縫が得意でお孫さんがお嫁に行くときの振袖を仕立てていたそうです。
この日は岡田町長が病院を訪れ、ご家族の方へ町からの記念品を送りました。

7/7 幕別中OBの甲子園経験者 佐々木さんの野球教室が開催



町軟式野球協会が主催する少年野球教室が7月7日、幕別中学校体育館で開催され、町内の野球少年団の6年生42人が参加しました。
講師には、幕別中学校野球部OBで、東海大学第四高校付属中等部野球部監督の佐々木浩正さんが招かれました。
佐々木さんは幕別中野球部のエースとして、全道大会ベスト4に進出し、進学した東海第四高では、甲子園に3度出場しました。
この日はあいにくの雨で屋内での開催となりましたが、子どもたちはキャッチボールなどの基本を再確認していました。

7/19 白人小の総合学習で子どもたちと 高齢者が「昔のおやつづくり」



この日は、昔のおもちやづくりや車いすの体験なども行われました

白人小学校では、高齢者とのふれあいを目的に7月19日の総合学習の時間に、6年生と高齢者がおやつづくりやおもちやづくりをしました。
これは、白人小の総合学習のテーマ「ふれあい」に基づいて行われました。家庭科室では子どもたちと、高齢者の交流の場である「いきいきエソジョイ教室」に参加されている方6人が一緒に、いもだんごやそば粉クレープ、ロールケーキなどのおやつづくりをしました。
一緒に調理をした6年生の小林映里奈ちゃんは「ちよつと失敗したけれど、うまくできたと思います。おばあちゃんたちは上手ですね」と楽しそうに話してくれました。

7/13 札内夏まつり開催 心地よい夏の日を楽しむ



「札内いなっさ舞」がよさこいを披露

札内夏まつりが7月13日、札内中央公園で開催されました。今回は町民が徒歩で集まれる場所で開催しようと公園で初めての開催となりました。
会場では、札内東中学校吹奏楽部の演奏のほか、町商工会青年部が主催する「サマーカーニバル」も同時に開催され、売店やビアガーデンを訪れた人を満喫させていました。
夕方には、バンドライブ、江陵高校のあんどんパレードや花火の打ち上げなども行われ、会場付近は夏の夜を楽しむ人たちの歓声がこだましていました。

Summer at last! やっと夏だ!

Paul and Alex are talking in the park.
ポールとアレックスは公園で話しています。

Paul: Hey, don't you think summer is the best!
ねえ、夏は最高と思わない。

Alex: Yeah, you can't beat relaxing in the sun
with a cold drink.
そうだね。暑い太陽の光を浴びて、冷たい飲
み物を飲んで、これ以上気持ちいいものなん
かないね!

Paul: What's your favourite drink?
アレックスの一番好きな飲み物は何?

Alex: It has to be sparkling water with a splash
of lemon juice.
それはレモン汁入りソーダ水に決まっている。

Paul: That sounds really bitter.
何かすごくすっぱそう。

Alex: It is, but it really quenches your thirst.
そうだけど、本当に渴きをいやしてくれるよ。

Paul: I like a cold ice cream or a really cold
beer.
僕はやっぱり冷たいアイスクリームか超冷た
いビールがいいな。

Alex: What are you talking about? You're still
only 18!
何言ってるの! まだ18歳でしょ!

Paul: That's what my father always says!
僕のお父さんはいつもそう言う!



輝いています シリーズ④



加藤 光之さん (旭 町)

かとう・みつゆき / 昭和50年幕別町に生まれ
る。平成12年に名城大学卒業後、平成13年
から鹿追町立瓜幕中学校で非常勤講師を務め
る。平成13年11月に青年海外協力隊に応募
し合格、今年アフリカのタンザニアへの派遣
が決定し、7月17日に出発した。趣味は登山。



タンザニアで新しいことに挑戦したいです

健康づくり ホットライン

結核検診を受けましょう

スマイル君: 暑くなってきたね~。今月から結核検診が始
まるね。

保健師: そうなのよ。幕別町は、毎年約3,000人の町民の
方が結核検診を受けているのよ。

☺: へえ~。大勢の方が受けているんだね。

保: そうね。各地区の近隣センターなどを巡回して行って
いるから受診しやすいこともあるし、町民の方の結核
に対する意識も高いのね。

☺: う~ん。結核は、なんとなく昔の病気っていうイメ
ジがあるね。

保: そうでもないのよ。結核への関心が薄れてきているせ
いか、患者数は減っていないのよ。

☺: お年よりに多いのかな?

保: そうね、結核患者さんの1/3が70歳以上の方ね。高齢
者に結核が多い原因は、次のことによるの。

のよ。その原因はこんなことがあるわ。

若者や働き盛り世代の大部分は、結核菌に感染した経
験がないので、免疫を持っていない
近代化されたオフィスは、気密性が高く、結核菌を含
んだ空気が職場内にとどまりやすい。
長時間の残業や不規則な生活などが抵抗力を弱くす
る。
喫煙者では、せきやたんの症状を喫煙のためだと思い、
しばしば発見が遅れる。

☺: そっか~。年齢に関わらず、検診は必要なんだね。
保: 8月1日号のおしらせで結核検診の日程が掲載されて
いるので、今年度まだ受けていない方、受ける予定が
なかった方も、ぜひお近くの検診会場どうぞ!

若い時に感染した結核菌の一部が肺のなかで生き残っ
ており、免疫力低下に伴い発症する。また、高齢によ
る免疫力の低下に伴い、新たに感染して発病すること
もある。
病気の治療のために免疫を抑制する薬などが投与され
たことにより、結果的に結核の発病が促される。

☺: 高齢者の方は、検診を受けた方がいいんだね。
保: ええ、でも、若い人や、働き盛りの人にも増えている



今月は、青年海外協力隊員として
タンザニアに出発した加藤光之さん
を紹介します。

.....

現在、ボランティアを含めると、
幕別町出身の2人の方が国際協力隊
派遣中です。加藤さんが3人目とな
るわけですが、志望された動機は?
「昨年、登山を兼ねた旅行でタンザ
ニアに4カ月ほど滞在しました。そ
の時タンザニアの人たちは、資金や
技術力は不足していますが、自分た
ちの社会を向上させていこうとする
気持ちを強くもっているのを感じ
ました。自分も何か力になりたいと
思い、志望しました」

選考試験はどんな内容でしたか?
「一次選考、二次選考があったので
すが、一次選考は英語、論文などの
筆記試験で、二次選考は技術面接な
どの面接試験でした」

合格から現在まで、どんな準備を
してきましたか?
「今年の4月から福島県二本松市で
派遣前の訓練合宿が行われ、3カ月
間、現地の言葉であるスワヒリ語を
勉強しました」

現在、青年海外協力隊員はどれく
らいの方が海外で活躍されているの
ですか?
「65カ国で2000人を越える方が
活躍されています。今回、北海道か
らは25人が派遣されます」

タンザニアでは、どんな仕事をさ

れるのですか?
「わたしは、今回タンザニアのムベ
ヤ市役所の地域開発課へ、村落開発
普及員という職種で派遣されます。
仕事は、女性の地位向上による村お
こしが大きなテーマです。具体的
内容は、まだ決まっています。が、
地域婦人開発団体の活動調査と生活
向上のためのサポート、支援業務な
どを行います」

2年間の派遣期間ですが、不安は
ありますか?
「今のところ不安はありません。2
年というのは、結構長く感じるかな
とは思いますが、わたし自身を知っ
てもらうだけでも、半年はかかると
思います。そう考えると、あっとい
う間かもしれないですね」

楽しみにしていることはあります
か?
「昨年、タンザニアを旅行した時に
現地の友達がたくさんできました。
その時に撮った写真を、まだ誰にも
渡していません。タンザニアに行っ
たら、直接手渡すことが出来るので、
楽しみにしています」

最後に今後の抱負をお聞かせくだ
さい。
「いろいろ新しいことに挑戦して、
たくさん失敗して、その中で少しで
も成長できればいいと思います。任
務が終わり帰国する時に、泣いてく
れる現地の友達ひとりでもでき
ば成功だと思えます」

わが家の アイドル



丸子 元基 (久北町)
平成13年8月23日生
ママ悦子さん
ちょっぴり泣き虫でかなり甘えんぼうだけどいつもニコニコ元気です。

募-集-内-容

来月は平成13年9月生まれのお子さんです。8月15日(消印有効)までに写真と20字程度のコメント、住所、氏名(パパとママも)、性別、生年月日を企画室までお寄せください。なお写真はお返ししませんので、ご了承ください。

わたしの イラスト



PN.さくらんぼ



PN.リカ



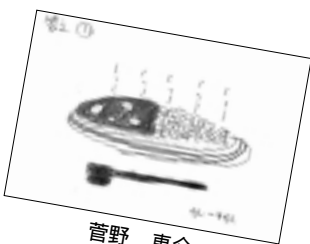
PN.ドラドラ



PN.麻倉 あんな



PN.水霧 月夜



菅野 恵介

みんなの 広場

このページではみなさんからののお便りや取材で聞いた意見・作品などを紹介しています。

ちよっぴん

先日のワールドカップのエスコート役を務めた北小のサッカー少年団の皆さんは本当によい体験でしたね。我事のようにとってうれしかったです！
7月の救急についての特集はとも勉強になりました。



道 菅住宅、町菅住宅などの空きが
ありましたら、広報に載せてください。
PN・ももちゃん

道 菅住宅および町菅住宅に空きができた場合の募集については、募集の都度「おしらせ」に掲載しています。8月1日号の「おしらせ」にも募集記事を掲載していますので確認してみてください。

幕別高校生がボランティアで運動公園のごみ拾い

夏フェスタ2002&サマーカーニバルが盛大に行われた翌日の7月22日、幕別高校の生徒がボランティアで運動公園内の清掃をしました。

前日の仮装パフォーマンスでエネルギーを爆発させた生徒たちはその疲れもみせず、各クラスの代表10人ずつの120人が、広い運動公園内の隅々までごみを拾い集めました。
妻の後の散乱したごみに生徒たちはあきれ顔でした。



ご寄付ありがとうございました
(7月22日現在)

全国拳闘倶楽部北海道連合闘友会から福祉推進基金に5万円 梅田博子さん(帯広市)から福祉推進基金に3万円

元気でなければ、老後はつまらない!

老後にそなえて、筋肉の『貯筋』をしよう!

足の筋力アップ

だんだん歩きづらくなっていくのも、動くのが面倒になっていくのも「年だからしょうがない」なんて思っていないか? 体の筋肉はお金と同じで貯えることができます。だからこそ、いざという時のために貯えておきましょう!

今回は、簡単にできる「足のふくらはぎ・すねの筋力アップ」をご紹介します。

この部分の筋力が低下すると、片足で体を支えることが不安定になるため、歩く時にふらついたり、平らなところでつまずいたり...というように、思わぬところで転びやすくなります。

~運動のポイント~

呼吸を止めないで、楽な気持ちで行いましょう。

1回あたりの運動目安として、15~20回繰り返し行ってみましょう。楽にできるようになれば、次へチャレンジしてみましょう。

週に2~3回のペースで続けていくと効果的です。

運動中に関節などに痛みを感じたら、あなたにとって「きつすぎる運動」ということになります。

痛みは体の危険信号なので、無理をしないで行いましょう。

やさしい

(少し浅めに座り、足の裏を床にピッタリとつけます)

かかととはつけたまま、つま先をぐっと引き上げて、ゆっくり戻します。

つま先はつけたまま、かかとを引上げて、ゆっくり戻します。



慣れてきたらチャレンジ

イスや机につかまり、体を支えます。かかとを引上げて、ゆっくり戻します。楽にできるようになったら、床にかかとをつけないで、かかとを上げ下げしてみましょう。(反動をつけないで、ゆっくり行くと効果的)



さあ、問題だよお!

広報クイズ 185

Q. 都市計画マスタープランのアンケートに協力してくれた高校生は、幕別高校、江陵高校合わせて何人?

148人

203人

351人

【応募方法】

はがきにクイズの答え、住所、氏名、年齢と、ご意見、ご要望などを書き添えてください。

【あて先】

〒089-0692
幕別町本町130番地
幕別町役場企画室

【締め切り】

8月15日(消印有効)

【前回の当選者】

応募総数は18通でした。先月号の正解は で、当選者はPN.リカさん、PN.さくらんぼさん、乾 未奈さん、今野信夫さん、伊東裕子さんです。

【毎月5人に図書券をプレゼント】



楠木康仁さん

(途 別)

農業を営んでいたため土をいじれるような趣味を持ちたいと思い、7年前から始めました。

陶芸を通じていろいろな方と交流するのがうれしいです。いつまでも気軽に楽しみたいです。



陶 芸

わたしの アトリエ

このコーナーでは絵画や手芸、陶芸品など、みなさんの力作を紹介いたします。



高橋秀昂さん

(旭 町)



▲書

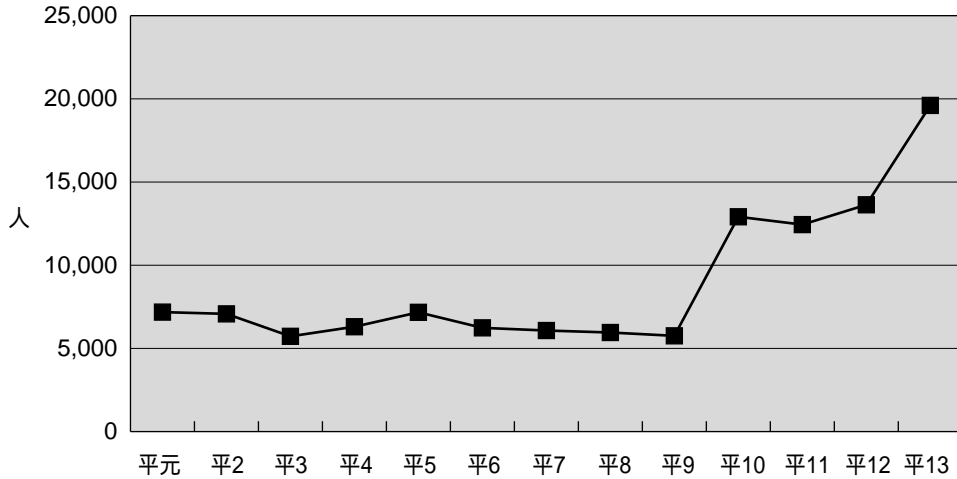
父の影響もあり学生時代から興味を持っていました。20歳から本格的に取り組み40年以上経ちました。

長年取り組んでいても自分の思い描いた作品を仕上げるのはいまだに難しいです。展覧会に出品できるような作品を書けた時はホッとします。

数字でみる わたしの町

▶ 第43回 ◀
19,606人

老人福祉センターの利用人数



幕別町老人福祉センター
幕別町老人福祉センターは、町内に住んでいる65歳以上の方の健康増進と相互の交流などを目的に昭和57年、依田地区にオープンしました。

センターでは65歳以上の方の無料入浴サービスを実施しています。集会所や談話室も整備し、多くの方が憩いの場として利用しています。

平成10年には全面改修をしました。窓が全面ガラス張りとなったセンターの浴室（男女各20平方メートル）では、野外の景観を楽しみながら、入浴をすることが出来ます。

平成10年の利用者数は約1万3千人、平成13年は約2万人と利用者は急増しています。

今年の4月からは、入浴時間を午前10時から午後6時までとし、2時間延長しました。これにより、さらに利用者の増加が見込まれます。

こちら編集室です

歴史上、これほど人間が健康に気を使っている時代は無かったのではないでしょうか。低インシュリン・ダイエット、マイナスイオンなど最近の健康に関するキーワードを数えると、きりがありません。

健康法を突き詰めていくと、最後に行き着くところは、「規則正しい生活」なのではないでしょうか。充分な睡眠、バランスの良い食事、適度な運動、ストレスの解消。でもこれって現代人にとっては、すごく難しいことですよね。

過密な仕事で運動もままならず、食事はコンビニ弁当、間食にはスナック菓子、24時間眠らない街やTV、インターネット、複雑化する社会。よほど意思が固くないと、とても健康に生きられそうもありません。

生活の全てを正すのは難しいので、まず運動してみませんか。トレセン・スポセンで楽しく運動できますよ。 武田・石田

人の動き《平成14年6月末日現在》

人口 25,396人 (+ 22人)
男 12,170人 (+ 1人)
女 13,226人 (+ 21人)
世帯数 9,642戸 (+ 3戸)

広報まくべつ 2002年8月号

発行 幕別町
編集 企画室

(〒089-0692 北海道中川郡幕別町本町130番地)

TEL 0155-54-6610 FAX 0155-54-3727)

ホームページアドレス <http://www.makubetsu.jp/>

Eメール yakuba@makubetsu.jp